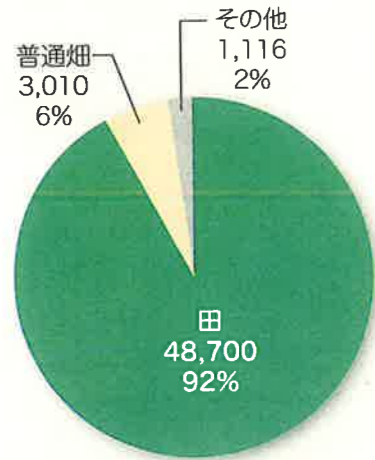
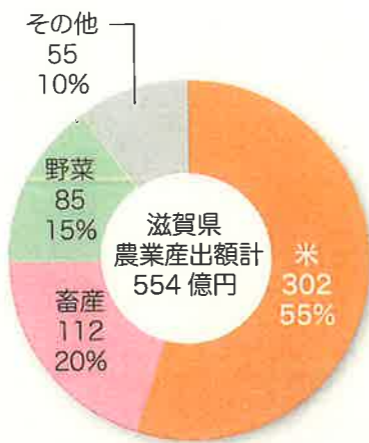


特徴的な滋賀県農業

琵琶湖を用水源として活用



農地の土地利用構成 (ha)
(出典：農林水産省『耕地及び作付け面積統計 (H26)』)



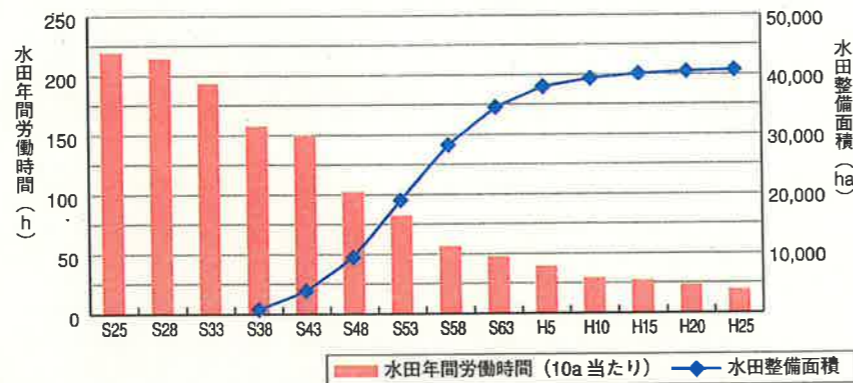
平成 26 年 農業産出額の品目別構成 (億円)
(出典：農林水産省『生産農業所得統計 (H26)』)

滋賀県は米どころ

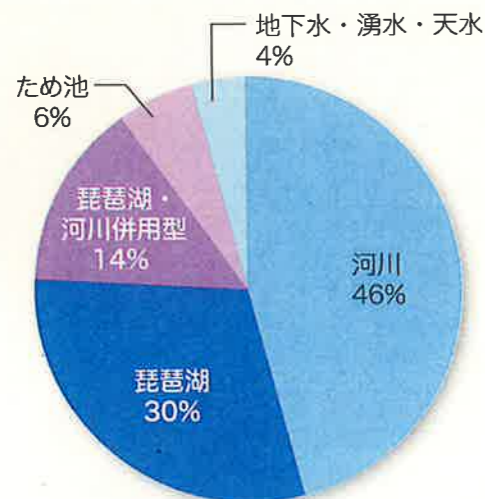
琵琶湖を中央に擁し、四方を鈴鹿や比良などの山々に囲まれた滋賀県は、温和な気候と豊かな土壌にも恵まれ、古来より水田開発が進みました。現在でも近江米の産地として水田農業が非常に盛んに行われています。特に、農地の水田率は、全国2位の約92% (平成26年) となっており、農業産出額のうち約55% (平成26年) を「米」が占めています。

生産性の高い農業

昭和 47 年から平成 8 年まで行われた琵琶湖総合開発により、ほ場整備は大きく進展しました。また農業機械の導入などもあり、水田労働時間は大きく短縮され、生産性の高い農業を実現しています。



滋賀県の水田労働時間と農地整備面積の推移
(出典：農林水産省統計部『米生産費統計調査』)



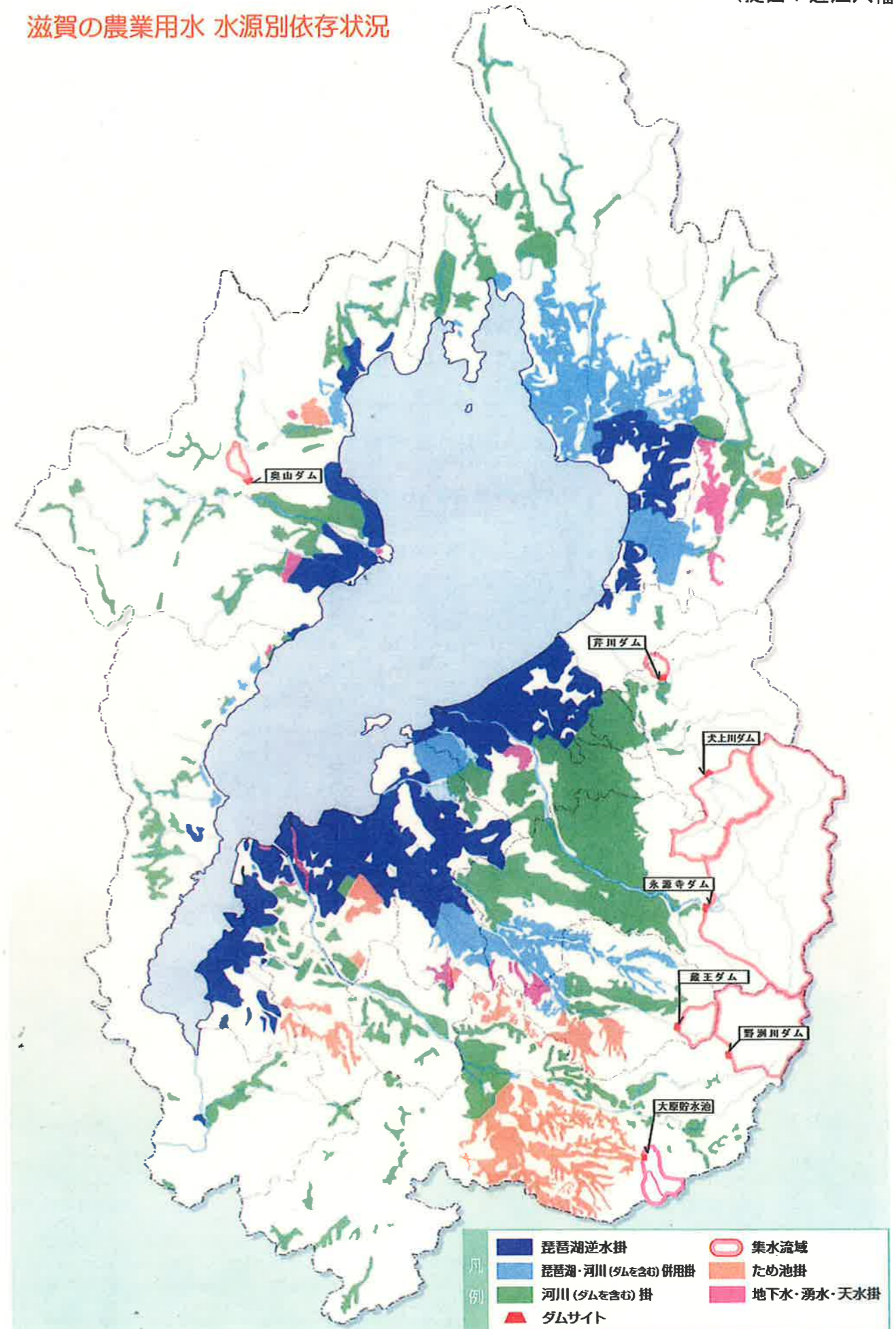
主要水源別農地面積の内訳

琵琶湖が用水源

通常、河川水で稲作を行うには、水田面積の10~13倍の流域面積が必要とされています。しかし、滋賀県では全水田面積のおよそ6倍の流域面積しかありません。

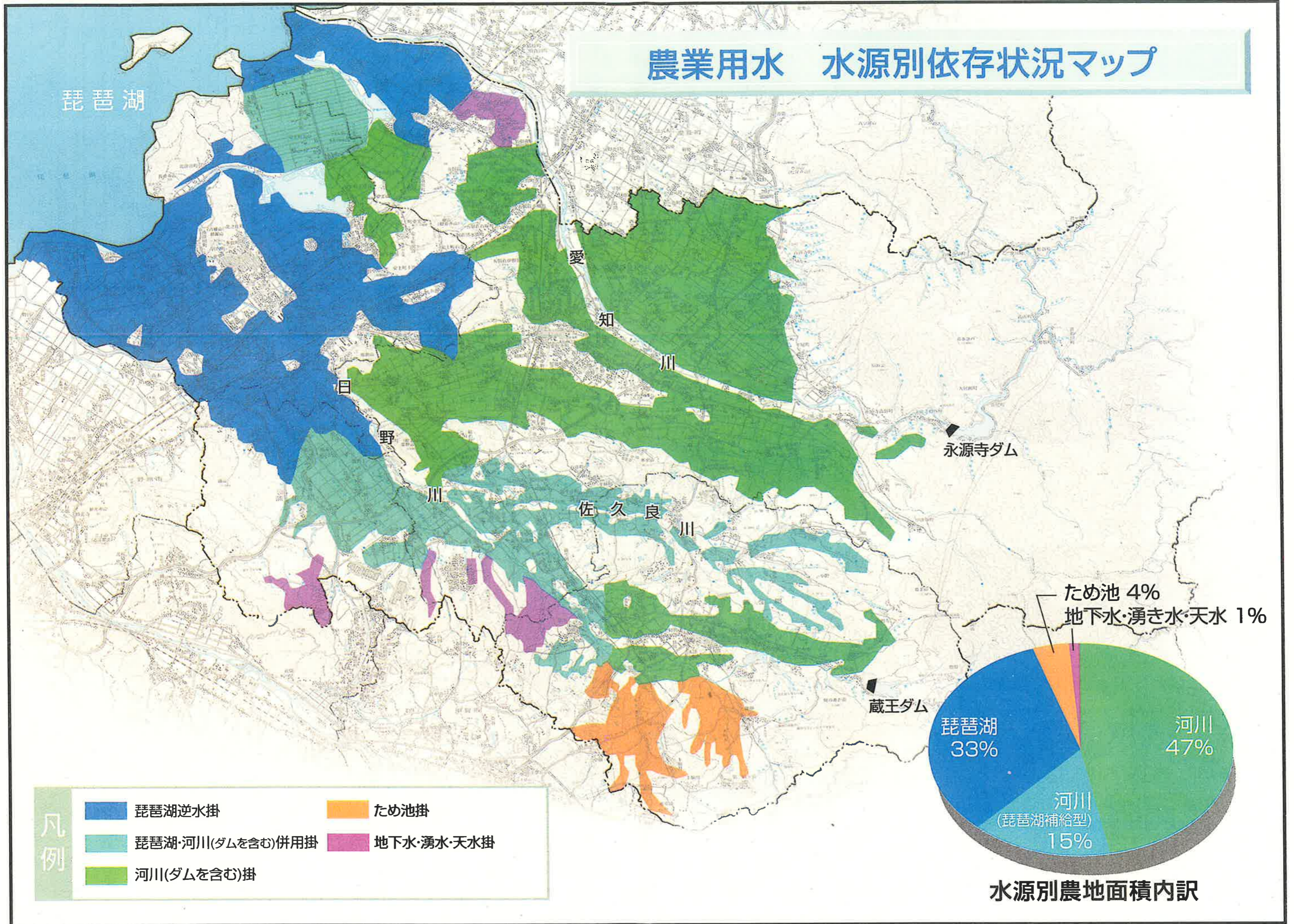
そこで、農業用水を確保するため、早くから琵琶湖からの揚水によるかんがいを進展させてきました。この結果、農地の約4割は琵琶湖を水源としており、滋賀県農業の特徴となっています。

滋賀の農業用水 水源別依存状況



凡例
 ■ 琵琶湖逆水掛
 ■ 琵琶湖・河川(ダムを含む)併用掛
 ■ 河川(ダムを含む)掛
 ■ ダムサイト
 ○ 集水流域
 ■ ため池掛
 ■ 地下水・湧水・天水掛

農業用水 水源別依存状況マップ



- 凡例
- 琵琶湖逆水掛
 - 琵琶湖・河川(ダムを含む)併用掛
 - 河川(ダムを含む)掛
 - ため池掛
 - 地下水・湧き水・天水掛

水源別農地面積内訳

